

(様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)

嬉野市議会議員

森田明彦

開催月日	令和5年2月13日(月)		
開催時間	13時～17時		
開催場所	茨城県境町役場4階会議室および遠隔監視センター		
主催者	茨城県境町役場		
研修会等の名称	境町が進める地方創生(自動運転バス運行について)		
講師等の氏名等	境町町長 橋本正裕 氏		
内容・結果等	目的、嬉野市では4年度より、 <u>未来技術地域実装事業</u> の一つとして自動運転モビリティ導入の計画が進んでいることから、2020年11月から自動運転バスの運行を先進的に行っておられる茨城県境町で視察研修を行った。		
	内容、境町の自動運転バスは2020年11月に第1ルート、2021年8月に第2ルートの運行がスタートしていて、開始してから無事故を継続中。自動運転レベルはレベル2(部分自動運転)で運転席はないがオペレーターと呼ぶ運転手が乗車し、コントローラーで交差点の通過などの操作を行うが、運行状況をリアルタイムで監視する「遠隔監視センター」が別に設置されている。町では、5年後に「誰もが生活の足に困らない町」を掲げておられた。また、運営コストについては「ふるさと納税」と補助金の活用で町の持ち出しがないことも町民の理解を得た一因であった。		
	感想、境町の地形は平野部で占められ路線も設定しやすい印象を受けた、嬉野市の場合、駅から町中心部へのルートを考えて、交差点が複数想定されることと、本通りを通すとなると20キロで走るバスが、駐車中の車を避ける運転誘導や低速なので後続車とのトラブルなどが心配される。境町では運行後は住民の理解も進んだとの事だが、解決すべき問題点である。当市では二次交通への市民の要望も多いことと観光地ならではの夢のある車両で話題性もあり、実装実験には期待をもって注視したい。		
	経費の内容	支払先	金額(円)
	旅費	祐徳旅行株式会社(宿泊パック)	41,350
	宿泊費	同上へ含む	
	旅費(都内⇒境町移動実費)	東京モノレール、JR他	7,320
	合計		48,670
	上記活動に要した経費		